

会議録（１）

会議の名称	第6回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	平成30年7月24日（火） 開会 午後1時28分 閉会 午後2時45分
開催場所	飯能市役所 本庁舎 5階 第1・第2委員会室
会長氏名	飯能市副市長 上 良二
出席委員	上 良二、吉田 樹、木部 康久、関根 康洋、堀米 康史、 鶴岡 洋、松原 緑、長田裕太郎、原 清、和田 毅、 本橋 実、渡辺 正幸、石井 英子、今井 祥晋、細田 幸二、 小柳謙太郎、古島 照夫、大野 康、大野 悟、梶山 吉之、 新井洋一郎、島田 茂、平野 功 (岡安委員代理：青木 宏之)、(中川委員代理：中村 晶代)、 (畦地委員代理：岡戸 豊)
欠席委員	山本 道夫、浅見 豊樹、浅見 浩士
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 坂本 実 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝
傍聴者の数	2名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 坂本 実 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

（１）本協議会の第６回目の開催にあたり、事務局長から開会が宣せられたのち、以下のとおり報告等をした。

- ①自己紹介：変更のあった委員のみ自己紹介をした。
- ②欠席委員等の報告：事務局長から報告をした。
- ③協議会の概要説明：本協議会の設立の趣旨等について事務局長から説明した。
- ④会長挨拶：会長（上副市長）から開会に際し、挨拶をした。

（２）平成２９年度実績報告と平成３０年度事業計画について事務局から、以下の資料に基づき説明した。

- ①飯能市地域公共交通基本計画（平成２６年度～２９年度）実施計画 平成２９年度実績報告（資料１）
- ②飯能市地域公共交通網形成計画実施計画 平成３０年度事業計画（資料２表面）
- ③吾野小学校スクールバス混乗制度実証実験経過報告（資料３、新聞紙面付き）
内容は了承され、委員から意見等が寄せられた。

（３）メツァ開業に伴う路線バスの運行方法等について委員から、以下の資料に基づき説明した。

- ①メツァ開業に伴うバス輸送計画（資料４）
内容は了承された。

（４）その他（議事）

事務局から、以下の資料に基づき説明した。

- ①平成３０年度地区別の取組（資料２裏面）
内容は了承され、委員から意見等が寄せられた。

（５）その他

事務局から、その他の事項について以下の資料に基づき情報共有した。

- ①暮らしを支える地域公共交通の実現を目指して」（講演会資料）
- ②出前講座「どうする？どうなる？免許返納」（チラシ）

会議録（3）

発言者	発言内容
事務局長	（開会）
各委員	（平成30年度から変更のあった委員による自己紹介）
事務局長	（欠席委員等の報告） （協議会の概要説明） それでは、次第に沿いまして協議会を進めさせていただきます。はじめに、協議会の会長であります本市副市長の上からご挨拶を申し上げます。会長、よろしく願いいたします。
会長	（挨拶）
事務局長	ありがとうございました。なお、この協議会でございますが、広く市民に周知していく必要がございますので、協議会の内容等につきましては公開とさせていただきます。本日、傍聴の方が2名いらっしゃっておりますので、ご承知おきくださいますようよろしくお願いいたします。 それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、協議会開催要綱第5条により、本協議会の会長であります上会長をお願いいたします。会長、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、議事を進めさせていただきます。議事（1）「平成29年度実績報告と平成30年度事業計画について」を議題とさせていただきます。説明は事務局からお願いいたします。
事務局	（資料1「飯能市地域公共交通基本計画（平成26年度～29年度）実施計画 平成29年度実績報告」、資料2表面「飯能市地域公共交通網形成計画実施計画 平成30年度事業計画」、資料3「吾野小学校スクールバス混乗制度実証実験経過報告」に基づき説明）
会長	説明は以上でございます。ただ今の件につきまして、ご質問はございますか。
委員	資料3の吾野小学校のスクールバスの混乗制度について、事務局から「事前

	<p>登録者数に比べ利用者数が少ない」という指摘がありました。利用者が多い少ないということはそれほど大きな問題にはならないのではないかと思います。この制度は、地域に今ある移動手段の資源を活かして、小学校、PTA、地域、バス事業者のそれぞれの事情をどう折り合わせて実現させるのかが重要視されるべきであると考えます。もちろん制度の周知はしっかりと取り組むべきですが、この制度をうまく回せるかの方がより重要な気がします。つまり、この制度のゴールをしっかりと定める必要があると考えますが、事務局としてはその点についてどのように考えているかをお聞かせいただければと思います。</p>
事務局	<p>この制度について、より多くの方に利用していただきたいところではありますが、既存の移動手段であるスクールバスの空いている席を上手く活用できないかという視点から始まったものであります。昨年度実施したアンケート結果を基に停留所を設置しましたが、未だ利用されていない停留所もあります。今後、停留所の場所はどこであれば使いやすいのかについても検討していきたいと考えています。また、制度の前提として、児童が学校に遅れないという点や安全面が確保されるという点をまず基本において、地域の皆さんが利用しやすいものとなるように今後検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>若干の補足をさせていただきます。このスクールバスの混乗制度については、その告知方法等につきまして地域の方から色々なご意見をいただきました。また、市議会でもこの件について議論になりました。そのような状況を見て、市民の方から相当関心が高いと認識しておりましたので、市としてもそれなりの利用をしていただけたらと考えておりましたので、利用者数について言及したものでございます。事務局の考え方も基本的な考え方に相違はありませんので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>この件について、利用者の多い少ないは気になっていました。利用者の少ない原因について考えてみたところ、総合福祉センターの送迎バスの吾野コースの利用者が多いことが挙げられるように思います。吾野コースは、全てのルートの中で最も利用者が多いルートとなっており、スクールバスの運行ルートと重なる部分があります。こういった事実についても考慮に入れながら、今後この制度について検討してもらいたいと思います。</p>

会長	<p>ありがとうございます。他にご質問等ございますか。</p>
委員	<p>吾野地区のスクールバスの混乗制度の件に関連して、来年度から吾野の3つの小学校が統合となりますが、このスクールバスの混乗制度をきっかけに地域がひとつになるという意義があるのではないかと考えます。利用者数等の数字に関しても大事になってくると思いますが、これから子どもたちを巻き込みながら地域をどう作っていくかが両地区の住民の方々に問われているところではないかと思えます。私の住む原市場地区では、51年前に4つの小学校が原市場小学校に統合しましたが、その時も先人たちが知恵を出し合って、結果的に地域では現在も統合して良かった、という話になっています。ぜひ、スクールバスの混乗制度が、両地区で自分たちの地域をどうしていくのかという問題を考えるひとつのきっかけとなればいいと思いました。</p> <p>また、私はふくしの森プラン推進市民会議の代表として参加しておりますので、そちらの話をさせていただきます。現在、第3次のふくしの森プランを策定中であります。市内13の会場で地区懇談会を開催しております。地域福祉に関する色々なご意見をいただきながら、市の社会福祉協議会と一緒に策定作業を進めています。その中でも、かなり公共交通の問題が取り上げられております。公共交通の「まもる」「育てる」「つくる」という考え方の中で、特に「つくる」の部分において、地域福祉の観点から活発な動きが出てきています。地元の原市場地区では「原市場地区公共交通を守る会」という会が発足しており、都会に住む方などに向けて魅力的なイベント等を開催することで、公共交通で地域に足を運んでもらう、また、地域の活性化を図ることも目的として事業が進められています。地域でも公共交通に関する様々な動きが始まっているということをお借りしてご紹介させていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>1点、ご報告させていただきます。両吾野の小学校の統合の問題につきましては、市長部局と教育委員会が一緒になって当初から「主人公は地域である」という考え方のもと進めてまいりました。地域の皆様のご尽力をもって、ここまで非常にいいかたちで進んできております。今後もよろしく申し上げます。</p> <p>他にご質問等はございますか。</p>

委員	<p>埼玉県としても、来年度に向けて公共交通の利用促進について今後の展開を検討しております。飯能市でも色々な取り組みをされているところであるかと思えます。県内にはボーイスカウトの団体が115程度あり、その内容は様々ですが、キャンプやハイキングなどの活動を行っていると聞いています。ぜひこのような団体にバスを活用してもらえるように、県としても売り込みをしていきたいと考えています。また、今年度はスタンプラリーの実施をするとのことですが、埼玉県としても来年度に向けて同様の事業を実施することを検討しております。また、サイクル&バスライドについて、飯能市の今後の予定についても情報共有をさせていただければと思います。埼玉県としても財政的な点も含めてご協力できればと検討を進めているところです。今後ご相談させてもらえればと思います。</p>
会長	<p>ご意見ということで承りたいと思います。現在、国際興業が運行している名栗地区については、都心から近く本格的な自然を体験できる場所でありますので、本格的なキャンプの場所としてももう少し多くの人に来ていただけるようにしていきたいと考えております。市内でも組織を越えてプロジェクトを作りまして、積極的に呼び込みをしていくところでございます。力強いご意見をいただいたと思っております。県との連携についてはこちらからもお願いしたいと考えておりますので、ぜひ引き続きご指導お願いいたします。</p> <p>他にご質問等ございますか。</p>
委員	<p>スクールバスの混乗制度の利用実績について、小学校の登下校の時間にしか運行がされておりましたが、その点が事前登録者数と利用者数の差に表れているのではないのでしょうか。その対策がこれから先に必要になるのではと考えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。この制度につきましては、現行のスクールバスの運行方法の中での運用となっております。現行のスクールバスに一般の住民の方に混乗していただいて、どれくらいの利用があるのかを検証するひとつのテストケースのようなものであります。「利用者数の数字だけで全てを把握するというのは違うのではないか」という先ほどの委員様のご指摘はまさにその通り</p>

	<p>で、この結果を様々な施策の検討材料にして参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。</p> <p>その他、ありますでしょうか。ないようでしたら、次の議題に入らせていただきます。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	<p>それでは、次に移らせていただきます。議事の(2)メツァ開業に伴う路線バスの運行方法等について、を議題といたします。説明につきましては、西武バス株式会社、関根委員からお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>(資料4「メツァ開業に伴うバス輸送計画」に基づき説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。この件につきまして、何かご質問等がありましたらお願いいいたします。</p> <p>(質問等なし)</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。「運行時刻」につきましては暫定ということでございますので、本日、本協議会でご議決をいただきますのは「運行ルート」と「運賃」いうことでご理解をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、メツァ開業に伴い新設されるシャトルバスの運行ルート及び運賃につきまして、本協議会において承認をさせていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし、の声あり)</p>
会長	<p>それでは、皆さん異議なしとのことでございますので、本案については承認させていただきます。よろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、議事の(3)その他に移ります。「各地区における小さな移動手段の検討について」を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料2裏面「平成30年度地区別の取組」に基づき説明)</p>

会長	<p>説明は以上でございます。この件につきまして、委員の皆さんのご意見を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>私は下川崎地区に住んでおりますが、週に1本しかバスが通らない状況です。どこへ出るにも車を持っていない人は1週間待たないと出られない現状があります。現在、宮沢湖の開発が進んでいる中で、西武バスの運行本数を増やしていただけないか等の意見が地区の中でも出てきています。また、現在は宮沢湖と東飯能駅・飯能駅がシャトルバスの運行ルートの中心となっておりますが、例えば、日高のサイボクハムの方に西武バスの路線があります。その路線を宮沢湖に繋ぐことができないかなどの意見が精明地区では出てきていますので、この場で共有させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ご意見ということでお伺いさせていただきます。メッツアの開業に伴いまして、精明地区の住民の方々には色々なことをご協力いただかなければならないと考えております。具体的には、圏央道の狭山日高インター付近は相当な交通量になり、周辺の状況が一変することが予想されます。現在、市の担当と精明地区の自治連会長との間で意見交換をさせていただく時期を調整させていただいています。市としても今後、バスのことも含めまして地区の方と色々な意見交換をさせていただきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願います。</p> <p>他に質問等はございますか。</p>
委員	<p>地区別の取組について、資料で示されている今年度優先的に取り組む地区における具体的な方策案のいくつかは、昨年度、網形成計画を策定している中でも本協議会で取り上げられたものであります。ただ、網計画の中にそのまま記載してしまうと、各地域で考える余地がなくなってしまうため割愛した方がいい旨の発言をし、今の網計画のかたちになった経緯があります。その後、おそらく地域の皆さんと事務局の皆さんの間での議論を経て、今回、具体的な方策案として再度出てきているものと認識しています。特に今年度に進める内容としての小さな交通については、既存の移送サービスの活用や「たすけあいあがの」のような組織作り、これにスクールバスの混乗制度も含めて、今ある組織</p>

	<p>や仕組みを使いながらどれだけ地域の皆さんの助けになることができるかの確認をしていく段階にあると考えています。また、精明地区については、先ほど承認されたメツァの輸送関係について、実際どれだけの人が使ってくれるのかという問題があります。例えば、1便2台運行という場合もあり得ますし、さらに道路の混雑の状況も分からないという状況もあります。シャトルバスでメツァまで直行する急行便と、現行のイーグルバスが運行している各停便の組合せで運行していくことがまずは第1ステップ。その後、平日と休日などの需要の違いなどの傾向が見えてくれば、週1便の路線バスについて地域の人のためにどのような対応が出来るのかを議論するのが次のステップ。つまり、メツァまでの輸送が滞りなくできるかどうかはまず1つ目の勝負であり、その後、それをどう沿線地域になじませていくのかが次の勝負となってくると考えています。平成30年度の枠組みでは今ある移動手段、組織を使ってどこまで地域の皆さんの役に立てるかを地域の方と共に考えていって、それを本協議会の皆様にご議論いただくというストーリーになると考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご質問等ございますか。</p>
	<p>(意見等なし)</p>
会長	<p>それでは私の方から、メツァのことにつきまして申し上げます。私も数回、建設の状況を見させていただいております。その中で、多くの方から建設の状況がわからないという旨のご意見や、情報開示をしっかりとくれという旨のご意見を頂いているところであります。メツァの事業者とやり取りをする中で、テーマパークという性格上、あまり事前に概要をお示しするのもどうかということもあり、現状のような取り上げ方になっている状況があります。私の方からご報告させていただきたいのは、予想を超える施設となっているということでもあります。また、自分たちで作る、考えるというようなトーベ・ヤンソン氏の想いをきっちり反映させたものとなっております。各方面から期待の聲が上がっています。そんな中で、本日、吉田先生や交通事業者3社の皆様からしっかりとしたお考えをお示しいただけたことに対して感謝申し上げたいと思います。また、我々も委員の皆様としっかりと公共交通の体系をつくり上げていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、本日の議題はすべて終了しましたので、長時間にわたる御協力に対して感謝申し上げます。進行を事務局にお返しいたします。</p>

<p>事務局長</p>	<p>会長には、議事進行ありがとうございました。また委員の皆様には、活発な意見交換をありがとうございました。</p> <p>それでは、次第4その他に移ります。委員の皆様から何かご連絡事項等がありますでしょうか。</p> <p>(連絡等なし)</p>
<p>事務局長</p>	<p>ないようですので、事務局からご連絡をさせていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(講演会資料「暮らしを支える地域公共交通の実現を目指して」、出前講座チラシ「どうする?どうなる?免許返納」に基づき、各講座実施の報告)</p>
<p>委員</p>	<p>出前講座についてですが、私は民謡のサークルを持っていまして、大体メンバーの年齢は75歳以上の人になります。集まる度に「いつ免許を返すのか」という話題になったので、今回の講座の開催に至りました。その結果分かったことは、私たちのサークルの約3分の1は路線バスのない地域の方で、不安の大きさが伺えます。逆に、路線バスのある地域の方は、免許返納しても路線バスがあるので安心という感覚でいるのかなと思います。講座の中で「運転危険度チェック」というものを行いました。皆問題がなく、かえってまだ免許を返さなくていいと思ってしまっているようでした。自己満足では困るので、帰ってからちゃんと家族にもう一度チェックしてもらった方がいいとお話をしました。生活する上で、買い物は宅配があり、病気の時も来てくれるが、好きな時にサークル活動などに行けないと困ってしまいます。自分たちの地域でサークル活動できる方法を考えることも大事と伝えていきます。生活のスタイルを変えないと免許を返せないのではないか、そういう考え方ができた時にやっと免許を返納する決心ができるのではないかと感じました。</p>
<p>事務局長</p>	<p>ありがとうございます。他にありますかでしょうか。</p> <p>(意見等なし)</p>
<p>事務局長</p>	<p>ないようですので、その他につきましては以上でございます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第6回飯能市地域公共交通対策協議会を閉会とさせていただきます。長時間にわたるご議論、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>